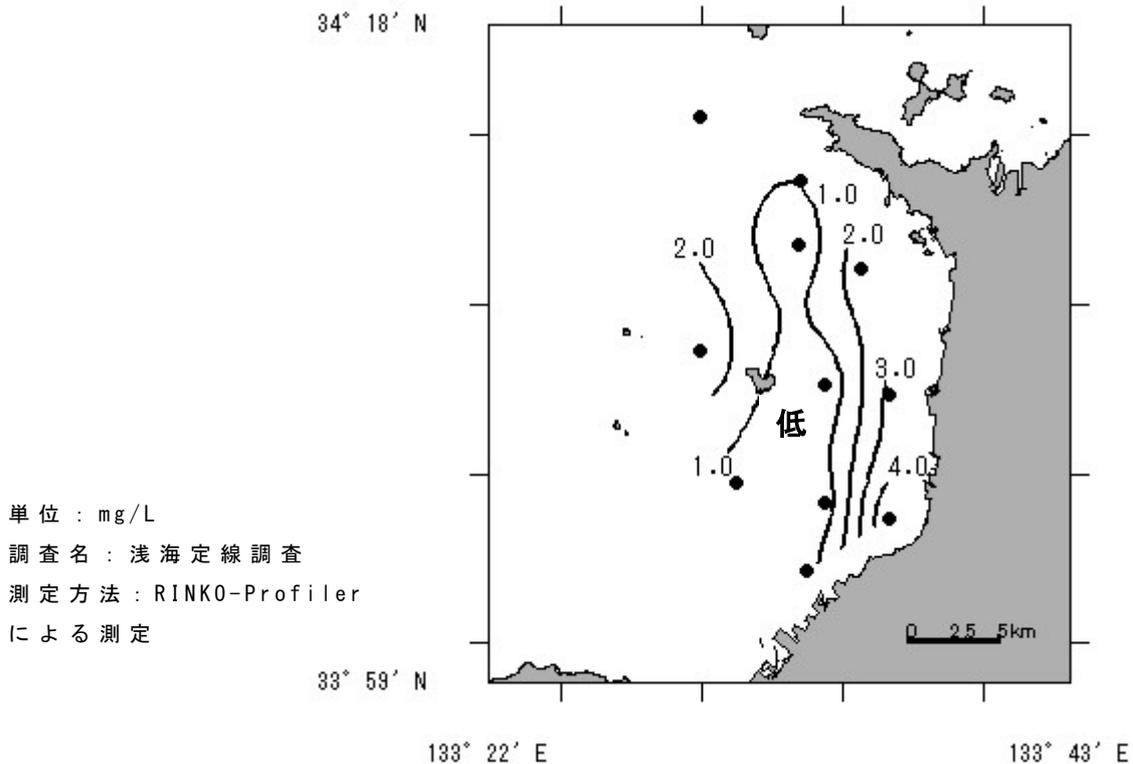


燧灘貧酸素情報（第 4 号）

香川県水産試験場

8 月 19 日観測結果

8 月 19 日現在，燧灘底層の溶存酸素量は 8 月 2 日の観測時よりかなり減少している点が多く，底生生物の生息環境が非常に悪化した状態となっています。岸寄りの測点でも底層はかなり悪化してきています。昨年度よりは中層に酸素が残っているという傾向は引続きみられています（次回 9 月上旬観測予定）。



底層の溶存酸素量

溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。